

建築人

2021

4

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.682





建築人

2021.04 No.682

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築
「綿業会館」1931年
設計：渡辺節

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「近畿大学農学部 多目的ホールつながる館」

設計：フリーダム・リノ

設計協力：三本矢創合設計

施工：藤木工務店大阪本店

「姫路の家」

実施設計・監理：坂本昭・設計工房CASA

施工：アトリエ・エイト

6 インフォメーション・事業案内

7 動静レポート

8 Topics

9 記憶の建築

「塔の家」1966年

都市居住の砦が見てきた風景 / 松隈 洋

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

リニューアルに伴い新たな企画として、大阪らしい楽しくて、面白く、そしてこち良い、そんな空間や風景を切り取り、その魅力や背景をお伝えしていきたい。初回は、水都大阪を代表する道頓堀川の西側に位置する湊町リバープレイスエリアを取り上げたい。

昔の汚いこの川を知る年代からは、現在の親水空間は想像し難いものかも知れない。そもそも大阪ミナミを東西に流れる道頓堀川は1615年に完成したものだ。しかし、治水対策のために護岸が嵩上げされたり水質の汚濁などにより、市民からこの川が存在が遠のいていった。しかし、水都を代表するイメージであったこのエリアを再生すべく、民間事業者が参入できる仕組みを国と協議し、河川敷地の利用が一部緩和されたことにより、待ち焦がれた水都大阪再生の契機となった。

湊町リバープレイスは、旧国鉄の貨物ヤード跡地を再開発したもので、2002年に開業した。川沿いには遊歩道が水辺に近い位置に整備され、2009年には川を挟んだ北側に複合商業施設「キャナルテラス堀江」が開業し、この両者を繋ぐ歩行者専用の吊橋「浮庭橋」が掛けられた。この“浮かぶ原っぱ”をテーマに計画された橋の上には緑地帯が設けられ、緑で覆われたこの橋の存在はこの親水空間に有機的な色を添え、この都市型立体的親水空間に“こちエエ”をもたらした。

本来であればこの空間には多くの人々が訪れ、それぞれがこち良い居場所を発見し、この写真に切り取られるはずであった。新型コロナウイルスによる人々の行動変容の記録して、あえてこの写真を残したい。

建築人 No.682 2021年4月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：飯田英二（編集人代表）

委員長：高原浩之

編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂籠一之

大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章

武藤優哉 若江直生

事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和3年4月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

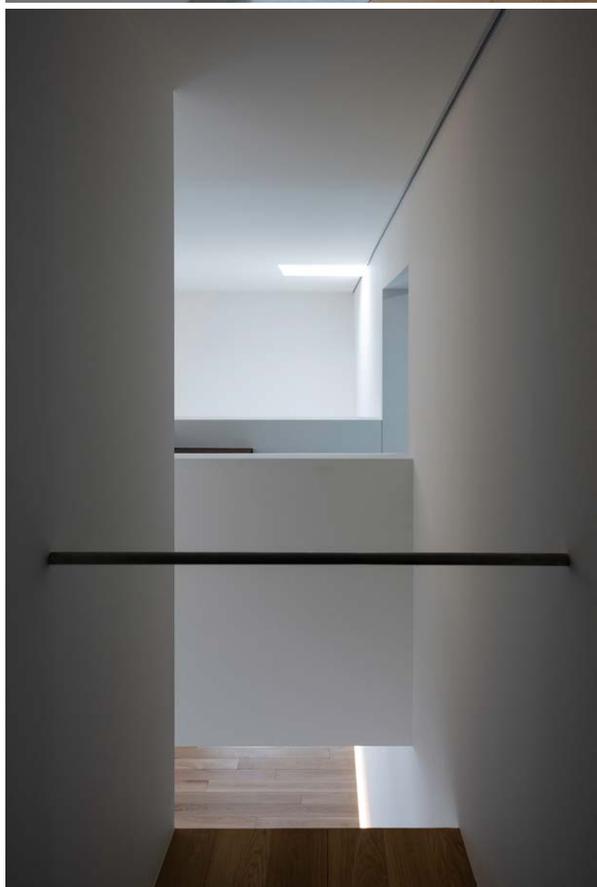
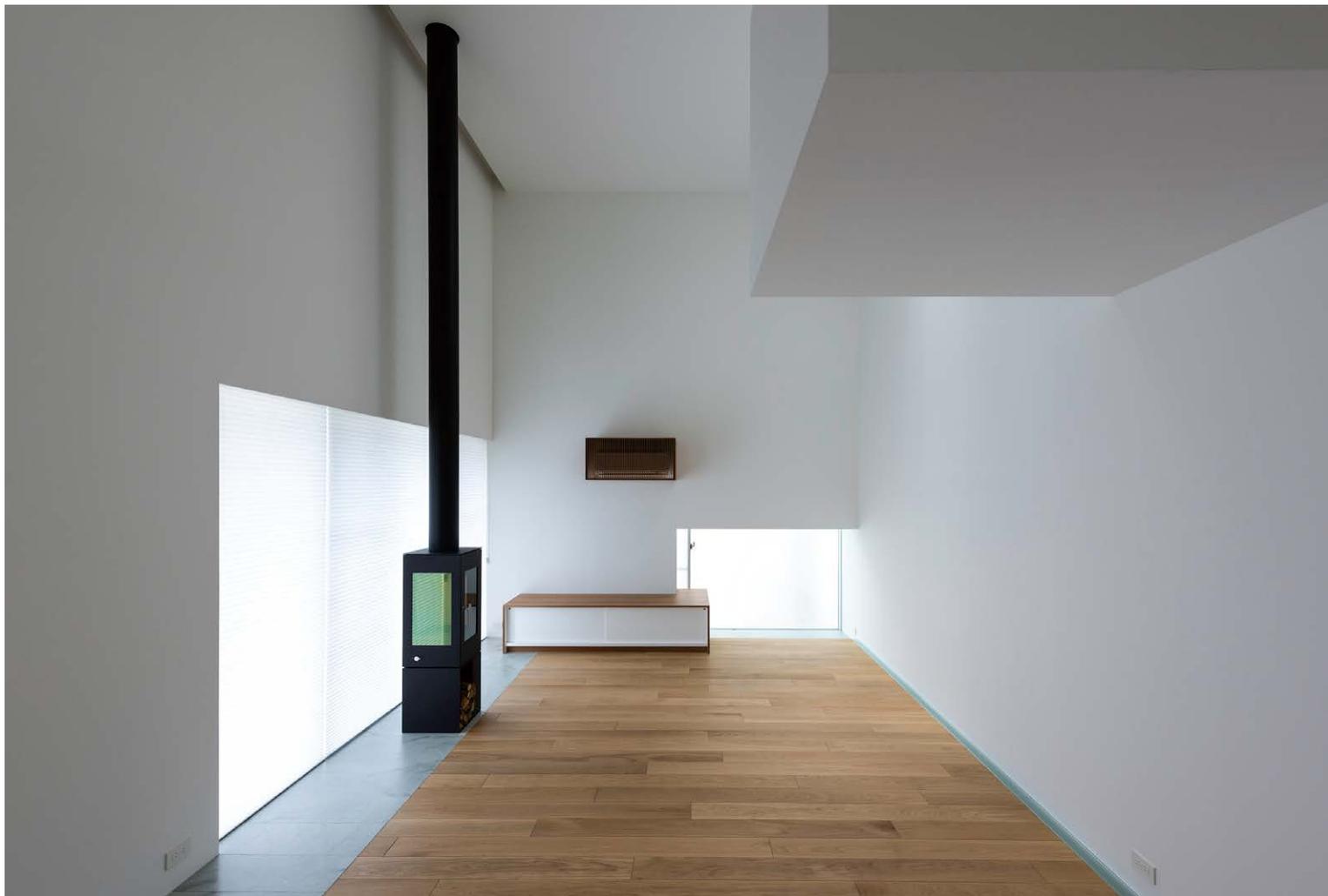
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



多目的ホールつながる館(愛称「つなかん」)は、農学部開設60周年・奈良移転30周年及び学校法人近畿大学創立100周年記念事業の一環として建設された。建物は、和モダンイメージした東大寺大仏殿と同じ寄棟屋根、壁面に多くのガラスを用いた現代的な外観に古都奈良をイメージしている。メインのあかねホールは、用途、利用人数に合わせて使用できる様、円形テーブル、ピクテーブル、異形ソファなどの座席を配置している。大型スクリーンとAV設備を配備し、イベントに対応できる仕様となっている。この建物が今後大学内の新しいコミュニティの場として最大限活用され、愛称である「つなかん」のごとく、様々な世界と繋がる施設となる事を切に願っている。

所在地：奈良県奈良市
 用途：学校
 竣工：2020.12
 構造規模：鉄骨造
 地上1階
 敷地面積：86,308.82㎡
 建築面積：1,677.12㎡
 延床面積：1,510.72㎡
 写真：エスエス大阪



兵庫県姫路市、閑静な住宅街の北と東を道路に面する角地に、この住宅は位置している。夫婦と3人の子供がそこに住まう。前面道路より幾重にも重なる壁と分節されたボリュームは、街に対して凹凸のリズムを作り、内外を隔てる緩やかな境界線を生んでいる。薄暗いポーチを抜けると、玄関上部の天窓から射し込む陽光が来訪者を優しく迎え入れる。廊下から食堂にかけて低く抑えられたのちに、高さ5.1mの居間が現れる。この空間には2階から書斎ボリュームが貫入し、居間と上階空間を微かに結びつけている。この宙に静止するボリュームは、生活を彩る光や騒りの移ろいを空間に映し込み、心地よい静けさを生み出す。
 (坂本 昭)

所在地：兵庫県姫路市
 用途：住宅
 竣工：2020.08
 構造規模：RC造
 地上2階+PH
 敷地面積：280.99㎡
 建築面積：146.25㎡
 延床面積：220.16㎡
 写真：松村康平

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離間距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)
耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等

(対象建築物)
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合、評価手数料の10%割引があります。

令和3年建築士試験案内

令和3年より、受験申込は、原則として「インターネットによる受付」のみとなります。過去に受験された方だけでなく、新規受験を含めたすべての方のインターネットによる受付が可能となります。

- 二級・木造建築士試験
- ◇インターネットによる受付期間
令和3年4月1日(木)午前10時～
4月15日(木)午後4時
※申込受付期間が土日を含む15日間となります。
- ◇学科試験日 二級 7月4日(日)
木造 7月11日(日)
- ◇設計製図試験日 二級 9月12日(日)
木造 10月10日(日)

- 一級建築士試験
- ◇インターネットによる受付期間
令和3年4月1日(木)午前10時～
4月15日(木)午後4時
※申込受付期間が土日を含む15日間となります。
- ◇学科試験日 7月11日(日)
- ◇設計製図試験日 10月10日(日)
- ※受験申込の詳細については、建築技術教育普及センターのホームページをご覧ください。

<https://www.jaieic.or.jp/>

令和3年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
4/23、5/26、7/7、9/3 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひ受講下さい。
日程 4/23(金)、5/26(水)、7/7(水)、9/3(金)
時間 8:55～17:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 各回20名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込9,500円
郵送申込10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

令和3年度建築士定期講習

5/20、5/28、6/1、7/15、8/20、9/16、10/21、11/24、12/17 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成30年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講習
日程・会場・定員
5/20(木) 大阪国際会議場 200名
5/28(金) 大阪国際交流センター 140名
※6/1(火) 大阪YMCA会館 100名
7/15(木) 大阪YMCA会館 100名
※8/20(金) 大阪府建築健保会館 50名
9/16(木) 大阪府建築健保会館 50名
※10/21(木) 大阪YMCA会館 100名
11/24(水) 大阪府建築健保会館 50名
※12/17(金) 大阪府建築健保会館 50名
時間 9:15～17:00(各講習日共)
受講料 12,980円(消費税含。事前振込)
申込方法
申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。
(平成30年度受講者には、直接申込書を郵送します。)
ご記入後、大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局へ持参又は簡易書留による郵送してください。
受付場所(送付場所)
※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局
建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。
<https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

デザイナーと建築技術者のための鉄とステンレス 新素材の活用講座

4/28 CPD4単位(予定)

鋼材の表面処理技術が向上し、錆びにくい種類が多様化しています。また、ステンレスもさまざまな新素材が活用され始めています。それぞれの活用方法について正しく理解することは、インシャルコスト及びランニングコストを考える上でも重要なことです。今回はレアメタルの世界的背景と共に、鉄とステンレスのプロが内装・外装・下地材に対し、新素材の使い方のノウハウをお伝えします。
日時 4月28日(水) 13:00～17:30
会場 TOTOテクニカルセンター大阪
定員 30名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員4,000円
後援団体会員5,000円
一般6,000円

これだけでわかる 建築基準法!

5/13 CPD5単位(予定)

毎年大好評を頂いています「これだけでわかる建築基準法!」を今年も開催致します。今回も3人の講師によるパワフルな布陣で解説して頂きます。学科試験に向けて準備を始めたい方、設計実務に役立つ法令知識をもう一度学び直したい方を対象に、建築基準法・同法施工令から関連法規までを学ぶ講習会となります。

日時 5月13日(木) 13:30～18:30
会場 大阪府建築健保会館6階
定員 70名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員6,000円
後援団体会員7,000円
一般8,000円

※テキスト代3,080円を含んでいます。

第7回 国際茶楼 JICA関西訪問

「いま我々にできること～海外に目を向けて」5/15

日本は今や国内のみを見ては経済活動・技術発展や向上、人的ネットワークの構築等は考えられない状況です。また組織においても高齢化が進み、人的活用として海外に目を向けることは重要です。このような時にJICAの活動に目を向け我々の取組めることを改めて考えればと思います。
プログラム終了後自由参加で「人と防災未来センター」「兵庫県立美術館(エントランスフリー部分)を見学します。」
☆JICA関西食堂で大好評の日替りエスニック料理等を楽しみましょう。
日時 5月15日(土) 12:00～16:00
集合場所 JR灘駅 12:00
会場 JICA関西と周辺 定員 25名
参加費 会員1,500円 会員外2,000円
学生・大阪府建築士会新入会員(2020年度以降入会)無料
懇親会 場所:三宮、会費:4,000円(予定)
※申込先着順、コロナ禍により予告なく変更する場合があります。

行政からのお知らせ

令和3年4月より石綿(アスベスト)の規制が段階的に強化されます。(大阪市環境局)

令和2年6月に、建築物等の解体等工事における石綿(アスベスト)の排出抑制を図るため、「大気汚染防止法の一部を改正する法律」が公布されました。主な改正事項としては、規制対象がすべての石綿含有建材に拡大され、また、作業基準遵守の徹底を目的とする直接罰が新たに創設されるなど、アスベスト対策を一層強化する内容となっています。

詳しくは、大阪市のHPをご覧ください。
HP [大阪市大気汚染防止法の改正について](#)
問合せ 大阪市環境局環境管理部環境管理課
環境保全対策グループ
Tel.06-6615-7923

その他のお知らせ

特別展「豊臣の美術」

大阪市立美術館
4/3～5/16

大坂の陣で敗れて滅亡の道をたどった豊臣氏に直接関わる美術工芸関係の遺品は、勝者である徳川氏のそれと数的には及ぶべくもありません。しかしながら、関係寺社、皇族・貴族、願願の大名らのもとを経て、少なからぬ優品が今日まで伝えられています。秀吉の神格化にかかわる多数の肖像、秀吉夫妻の遺愛品である優美な蒔絵調度(高台寺蒔絵)をはじめ、唐物茶道具、刀剣など一族が収集した名物の数々、あるいは御用絵師・狩野派による寺院障壁画や太閤秀吉を追慕する風俗画まで、古文書、甲冑類を除いても、その内容は実に多彩です。

本展では、これら豊臣ゆかりの品々から国宝3件、重要文化財22件を含む約80点を精華をよせ、激動の時代を映す壮麗な造形をご紹介します。

展覧会名 特別展「豊臣の美術」
会期 4月3日(土)～5月16日(日)
会場 大阪市立美術館
大阪市天王寺区茶臼山町1-82
(天王寺公園内)
時間 9:30～17:00
(最終入館時間16:30)
休館日 月曜日(祝休日の場合は開館し、翌平日休館。ただし、5月6日は開館)
※災害などにより臨時で休館となる場合があります。
観覧料 一般1,500円
※前売券の販売はありません。
問合せ 大阪市総合コールセンター
なにわコール
Tel.06-4301-7285

動静レポート

令和3年3月度理事会報告

日時 3月17日(水) 16:00～18:00
場所 KKR ホテル大阪
出席 理事 44/46名 監事 1/2名

個人会員及び賛助会員の合計2,652名、2月の事業収支差額1,165,407円、累計9,019,372円を報告し、承認されました。収支決算見込みは、新型コロナウイルスの影響により、建築士試験業務等の各事業で減収になりましたが、定期講習や既存住宅状況調査技術者講習等は感染防止対策のうえで実施し、年度末決算は概ね均衡する見通しです。

令和3年度の事業計画及び予算案を立案し、収支総額149百万円、差引0円を承認しました。

令和3年度の委員会組織は、IT促進委員会を新設し、社会貢献部門内で一部委員会の統合を行うこととし、理事48名、監事2名の次期役員を定時総会で選任することとしました。

運営部門

令和3年度定時総会及び栗生明氏の記念講演会の開催

5月19日の定時総会は、新型コロナウイルス感染防止対策を施して通常どおり、昨年コロナ禍で中止いたしました会員表彰や建築作品表彰を行う式典及び栗生明(くりゅうあきら)氏をお迎えして記念講演会も開催いたします。

氏は1947年生れで1973年早稲田大学大学院修士課程を修了後、横総合計画事務所を経て、現在、(株)栗生総合計画事務所代表取締役です。



代表作の平等院鳳翔館や植村直己冒険館、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館をはじめ様々な建築物の設計を手掛られています。氏は建物のヴォリュームの多くを地下に埋めて、風景や環境に配慮したモダンゾムの作風で知られ、日本建築学会賞作品賞、日本芸術院賞、村野藤吾賞など多くの賞を受賞されています。定時総会のご案内は、本号に同封します。

運営部門

藤井寺市との住環境整備に関する協定を締結

3月23日に藤井寺市と「安全で安心して快適に暮らせる住環境の整備に関する協定」を締結いたしました。

協定に基づき、市の空家対策、中古住宅の流通、住宅の耐震化促進、災害時の応急危険度判定や避難所での相談等に係わる連携を強化し、市民の暮らしの向上に寄与するべく市と協力体制を整えます。

住環境の整備に関する連携協定締結式



岡田一樹藤井寺市長(右)と岡本会長

表彰部門

建築関連学校優秀卒業生14名を表彰

本会では毎年、建築業界の将来を担う優秀な学生を表彰し、卒業後の励みとして一層の精進を重ねていただくため、建築関連学校の優秀卒業生を表彰しており、今年度は14名の卒業生を表彰します。表彰は、本会役員が卒業式等に出席して対象者に直接表彰状を授与することとしておりますが、コロナ禍の影響で出席を自粛し、ほとんどが学校関係者からの授与となりました。本年度の表彰者在籍校は、大阪大、大阪市大、大阪芸大、大阪工大、関西大、近畿大、摂南大、大阪工技専、中央工学校、修成建設専、日本理工情報専の11校14学科です。

表彰部門

あすなろ夢建築グランプリを「宇都宮 壹彰」さんが受賞

本会、大阪府、府住宅供給公社の3者が主催する第30回あすなろ夢建築大阪府公共建築設計コンクールのグランプリに修成建設専門学校1年宇都宮壹彰さんの「距離を生む木々」が選ばれました。

本賞は、建築を学ぶ専修学校、高等学校等の学生を対象とする設計コンクールで、グランプリ作品は実現されます。

今年度は、「緑陰で憩う」のテーマで、大阪府管服部緑地内に立地する休憩所を課題として募集したところ、242作品の応募があり、1月30日(土)の最終審査において、グランプリ・準グランプリ各1点、優秀作品賞2点、佳作3点、奨励賞3点を選定され、3月30日(火)に、表彰式及び受賞者によるプレゼンテーションを、大阪府咲洲庁舎において行います。

事業部門

大阪市から高齢者住宅改修費給付審査業務を受託

令和3年度「大阪市高齢者住宅改修費給付事業」の審査業務に、本年度も入札に参加し、昨年度に引き続き本会が受託しました。本業務は、介護保険の対象とならない住宅改修部分の一部に対して、大阪府が一定の助成を行っており、工事内容が申請者にとって適切か否かを審査・査定するものです。

本会では高齢者の住宅改修に詳しい女性委員会を中心として担当し、審査内容のチェックを行うなど業務の推進に努めております。なお、昨年度は書類審査73件と訪問・現地調査20件を行いました。

社会貢献部門

広域緊急交通路沿道ブロック塀の耐震診断

大阪府では2020年4月に広域緊急交通路沿道のブロック塀耐震診断の義務化が指定されました。該当のブロック塀等の耐震診断・除却・新設の補助制度による診断業務について本会に協力要請があり、今後、耐震委員会を中心として取り組んでいくこととなりました。

耐震診断を行える者は、RC造若しくはSRC造の診断資格者、又は(一財)日本建築防災協会主催のブロック塀の診断講習を修了した者と定められており、同講習は本年7月頃に開催される予定です。今後は業務の手順や補助の方法などについて府と調整のうえ取り組みます。

『“ささっと” 描けるスケッチパース』を受講して

日時：令和3年3月3日（水） 18：00～20：00 会場：大阪府建築士会 東会議室 参加者：20名



石丸優子（女性委員会委員）

クライアントへの提案に、“ささっと”スケッチパースが描けたら、と思う人は多いでしょう。本セミナーはそんな設計者を含めこれから設計者となる令和2年度の建築士試験に合格された方へのお祝い企画として開催されました。

私は学生時代、在学2年目の夏休みに製図室が何の報せもなく「CAD室」に改修され、休み明けの始業日に驚いたことを鮮明に覚えています。その為、在学中の課題でパースを一点透視・二点透視法で作図した経験があるだけで、卒業後の実務において手描きで図面を描く機会は全くありませんでした。学生時代も実務を始めてからも、CADではなく「手で描いて」検討する事から得られるものはかけがえのない財産だと実感する日々です。本セミナーは、大手前短期大学で学生にパースを教えながら、インテリアとエク

ステリアの両面でコーディネーター、デザイナーとして活躍される藤山先生を講師にお迎えし、先生の実体験を交えたお話を随所で聴くことが出来ました。中でも「パースがあると、クライアントとの話が驚くほどスムーズにまとまる」、「パースの中にクライアントの気を惹くものをひとつ入れると心を掴める」というお話は先生の豊富な経験による説得力あるものでした。

本セミナーでは、二点透視法による個室のスケッチパースを手順に沿って作成しました。“ささっと”が大切なので定規は使わずフリーハンド。そして“ささっと”の目安は10～15分、鉛筆で陰影までつけることが目標です。VPの決め方、照明器具の描き方、カーテンを違和感なく描くコツなど、“ささっと”描く中でも押さえるべきポイントを藤山先生が丁

寧に教えてくださいました。

その他、「陰影は3段階つけるよう意識する」、「絵の中に余白をわざと残す」といった、すぐに使えるコツも教わり、実務者には特に有意義なセミナーとなりました。

設計者は自分の頭の中の空間を相手に伝えられなければならない、“ささっと”描くためには普段から慣習化していないと出来ません。それを忘れず、進んで手を動かしたいと思います。



「大阪市高齢者住宅改修給付事業 審査業務」を担当して



上田仁美（女性委員会委員）

この事業は、介護保険制度の住宅改修費の支給を受けて住宅改修を行う時、支給対象とならない部分の一部について、その費用が給付される大阪市独自の制度で、高齢者が住み慣れた家で安心して日常生活を送れるよう等、福祉の増進に役立てることを目的としています。

H29年度より、毎年入札により受託し、審査は、女性委員会が中心となって約10名の建築士会会員が、毎週月曜日と木曜日の週2日行っています。また、審査内容は工事内容が申請者にとって適切か、工事金額に間違いはないか等、建築士としてチェックをします。回り持ちでの担当なので、次の審査員にきちんと審査内容を伝えるために、報告書の作成とメールでの報告、市の担当者よりの指示内容の連絡などを毎回行っています。

対象工事は、トイレの改修や浴槽の取り換えに伴う給湯器の取り換え工事が多い

です。例えば、汽車式便器を洋便器に取り換える場合等は、床を段差解消し、手すりを取り付ける壁の改修工事、狭くて使用が困難な場合は、トイレを広げ、床や壁の改修等の内容が適切であるかチェックします。又、またぎ高さを低くするための浴槽取替えでは、既存の風呂釜では浅型浴槽が設置できない場合が多く、ガス給湯器に取り換えます。受給対象者は、基本的に高齢者本人が市民税非課税世帯で、段差の多い古い狭小住宅が多く、どうやって使用されているのだろうと驚くこともあります。設計事務所では経験することのないような事例もあり、困惑することもありました。

申請図面には記載の不備や工事方法の疑問等がみられることもあり、現場に行くと実際に確かめると、申請図と間取りが違う、要求図面が正確に書けていない等々の食い違いが多々あります。

また、申請代理人は工事業者のため直接申請者にアドバイスし難く、建築士の視点からすればもっと使いやすい計画ができるのにと、歯がゆい思いをすることもあります。

日々の生活を、特に今日のステイホームのコロナ禍の生活では、住まいのちょっとした改善が高齢者の暮らしを助けます。悩みの多い業務ですが、建築士として、その一助となるよう審査業務に携わっていきたいと思います。



審査風景

都市居住の砦が見てきた風景
塔の家 一九六六年

文・写真 松隈 洋 [京都工芸繊維大学教授]

よく知られているように、新宿西口 広場の設計に携わった所員の一人に、後に独立して住宅を中心に数多くの建築を手がけた東孝光（一九三三〜二〇一五年）がいる。『都市住宅』一九六八年七月号に掲載された自筆の略歴よれば、大阪生まれの東は、一九四五年の敗戦を疎開先の奈良で迎え、「瓦礫の大阪」の戦後復興を見守るようになって育つ。また、高校時代に見たアメリカ映画「摩天楼」に感激して、建築家に憧れを抱いた

という。一九五七年に大阪大学を卒業後、郵政省に入り、建築部設計課の建築技師として歩み始めた。しかし、「大組織での設計過程の長短に疑問」を抱き、一九六〇年、坂倉準三建築研究所大阪事務所に移籍する。一九六四年、新宿西口広場の現場監理のため、東京事務所へ駆り出され、住み慣れた大阪から単身上京し、渋谷区千駄ヶ谷に住み始める。日々巨大都市再開発の仕事に早朝から深夜まで追われる中で、東は、

キラー通りに面する正面外観



一九六六年に上京してきた妻・節子と四歳の娘・利恵と共に、東京に住むことを決意し、俗称キラー通りに面する渋谷区神宮前に、区画整理で生まれた僅か六坪の土地を購入する。そして、そこに、自邸兼アトリエとして建てたのが、「塔の家」だった。後に記した文章の中で、自邸を建てるに至った当時の思いについて、東は次のように記している。

「一九六七年から八年にかけては、私の建築の師、坂倉準三や西沢文隆のもとでの修業時代の最後であり、新宿西口広場の仕事を通じて建築家が造形以前の、どこに何をつくるかにどれだけ参画を許されているのかという絶望感に直面しながら、自己の出發を考えている時期であった。それだけに、まさにそのような参画が一〇〇パーセント可能な自邸の実現は、私に強い確証を与えてくれた。」
〔『現代建築家全集』第二四卷三一書房一九七四年〕

この言葉からは、身の丈をはるかに超える巨大な仕事の軋轢の中で、「絶望感に直面」しながらも、だからこそ、極小の自邸で、確かな手応えをつかもうと切望していたことがわかる。しかし、一方で、東は、自宅を持つとうとする場所として、郊外の静かな環境ではなく、喧噪に包まれた都心に住むことにこだわっていた。そのことが、竣工直後に記した次の文章からは見えてくる。

「私の住みたいと思う都会は銀座や丸の内や新宿のことではない。またその間をうざる木造バラックの街で

もない。まして縦横にめぐらされた高速道路に魅せられているわけでもない。それ等の全て、この混乱と矛盾のごちゃ混ぜの人間の集まりである現実の都市そのものの中に踏みと留まりたいと言うのが私の願いなのである。

都心から車を走らせること一時間余り、郊外の分譲地を見に行ったとき、自分はどうしてもこんな所には住めそうもないと直感した。（中略）これでは真夜中に数人の友と建築を語り都市を論じ人間を考える環境にはならないのだ。都市の真中で生まれ、終戦後の瓦礫とバラックの中で商戦時代を過し、都会の喧噪と混乱の歴史のなかで育った私はこれからの都市の変化をその真只中で考え、論じ、見守って行きたいのである。」（東孝光「ある抽象的解明―私のすまいについて」『建築』一九六七年六月号）

こうして、「あとはただ、私の乏しい予算のなかで土地を見つけ、予算の許す範囲のスペースをどう組み上げるかの問題だけである」としてつくり上げたのが、「地下の書庫からガレージ、食堂、バスルーム、寝室からペントハウスの子供室まで、六坪の敷地に建築面積三・六坪、延約二〇坪の六層のすまい」だった。一九六六年六月に着工し、躯体が出来上がった九月に未完成のまま住み始め、簡単な造作工事を経て、翌年の一月に完成、五月に独立して東孝光建築研究室を開設する。そして、この小さな自邸を拠点に、巨大都市東京の移り変わりを「真只中」で見届けながら、半世紀にわたり、建築家として歩み続けたのである。

私事ながら、一九九五年八月十五日、塔の家を東さんの案内で見学する機会があった。この年、東さんは、「塔の家から阿佐谷の家に至る一連の都市型住宅」により、日本建築学会作品賞を受賞された。そのお祝い会で上映する「自作を語る」の映像制作を、シラカンスの小嶋一浩（一九五八〜二〇一六年）氏と筆者が依頼されたのだ。これには、遠い学生時代の出会いがあった。一九七九年春、オーブンデスク制度で前年の夏に研修を受けた宮脇檀氏の紹介により、東さんのアトリエで研修を受けた。その後、東さんに、学生主催で京都大学に講演に来ていただいた際、車で送り迎えしたのが、二学年後輩の二十歳の小嶋さんだった。

それから十六年、小嶋さんがビデオカメラを持ち、東さんに筆者がインタビューしながら、塔の家の中を隈なくめぐった。いつもの青シャツ姿と笑顔で、都市の真只中に暮らす楽しさを語る東さんの姿を思い出す。その時、外からはコンクリート打放しの壁に閉ざされた砦のように見えたこの家が、実は、都市の息づかいまで体感できるほどに、皮膚感覚に近い開かれた空間であることに驚き、東さんが都市居住に求めたのはこのことだったのかと気づかされた。そして、それこそが、東孝光が極小住居の設計を通してつかもうとした都市に住むことの「確証」となる手応えだったのだと思う。塔の家が目撃してきた東京は、現在、そのような一個人の気持ちを受けとめる器量と魅力を持ち合わせているのだろうか。今は亡き東さんと小嶋さんの声を聞きたくなった。

建築基準法 及び 同大阪府条例

質疑応答集

改訂第7版



▼内容構成

第1章 総則関係／第2章 単体規定／第3章 集団規定
第4章 雑則規定／付則 シックハウス／ 天空率／
大阪府建築基準法施行条例解説／
劇場等に関する技術基準解説／
建築基準法の「その他これらに類するもの」の扱い ほか

▼体裁 A4版 207頁

▼定価(税込) 発行団体会員：4,000円

— 一般：4,500円

9年ぶりの改訂

大阪府内建築行政連絡協議会監修
法令の各条項についてQ&A形式で
解説した建築申請の実務書です。

発行／(公社)大阪府建築士会

(一社)大阪府建築士事務所協会

UNION



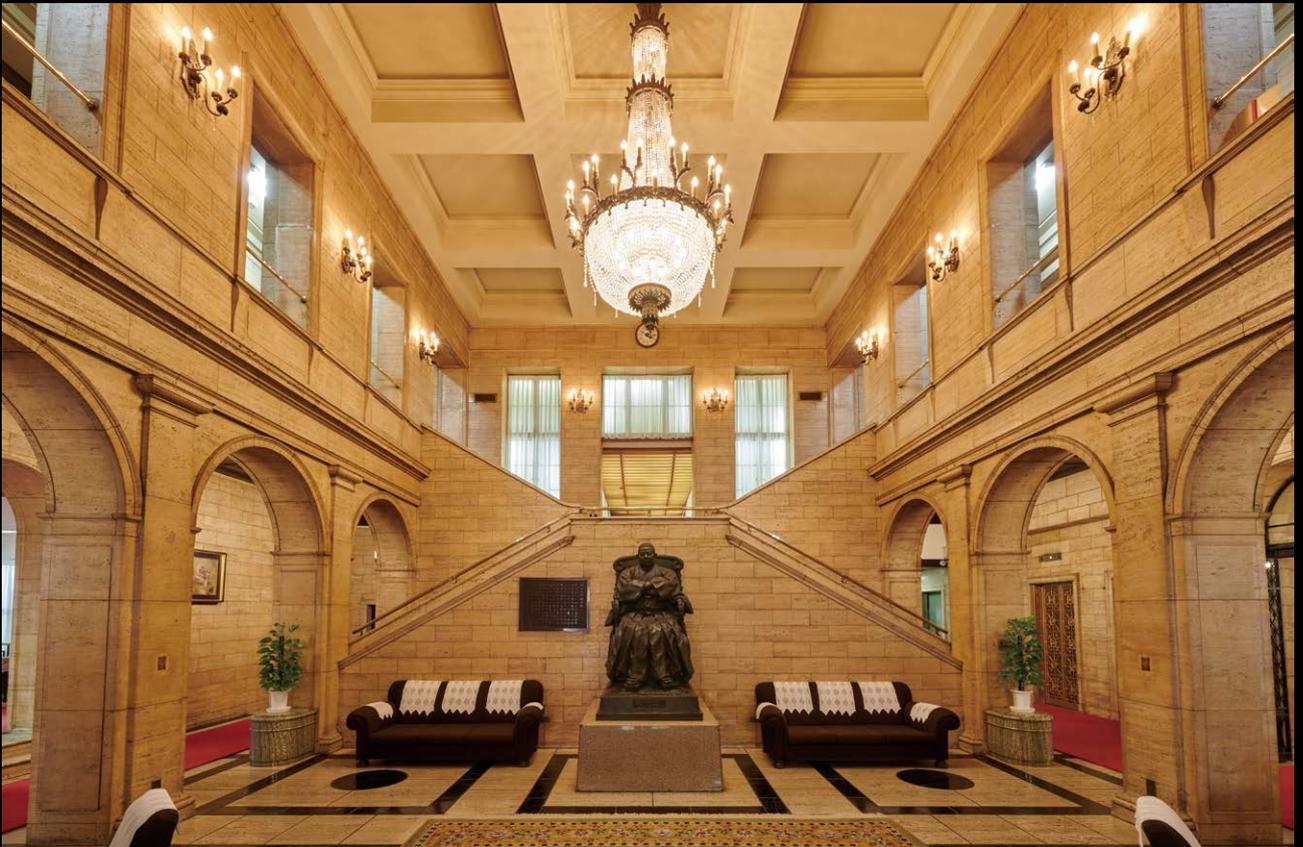
空間を結ぶ、芸術となる。



new catalog 2021.4 debut.

最新カタログ『2021 アーキズムシリーズ新製品カタログ』ご請求は www.artunion.co.jp よりお申し込みください。

本社: 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 東京支店: 〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811 fax 03-3630-2816 大阪支店: 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731 fax 06-6533-2293 名古屋営業所: 〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221 fax 052-363-5255



「綿業会館」玄関ホール